

図書館だより 2月号

2022年2月1日発行

大田区立志茂田中学校図書館 読書学習司書

春はもうすぐ

早いもので、今年も1か月が過ぎました。2月3日は節分、翌日の2月4日は立春です。立春は、暦の上で春が始まる日とされています。まだまだ寒い日が続きますが、ふくらみ始めた梅のつぼみに春の気配が感じられますね。

今月は学年末考査があります。学校図書館には定期考査の過去問題を置いてありますので、ぜひ活用してください。



2月の学校図書館

月	火	水	木	金
	2月1日 開館	2月2日 休館	2月3日 開館	2月4日 開館
2月7日 開館	2月8日 開館	2月9日 休館	2月10日 開館	2月11日 2月11日 建国記念の日 休館
2月14日 開館	2月15日 開館	2月16日 休館	2月17日 開館	2月18日 開館
2月21日 開館	2月22日 開館	2月23日 2月23日 天皇誕生日 休館	2月24日 2月24日 学年末考査 休館	2月25日 2月25日 学年末考査 休館
2月28日 振替休業日 休館				

<開館日>

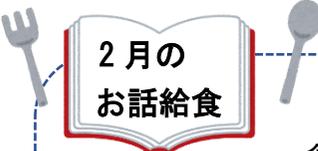
月・火・木・金
(水曜は休館)

<開館時間>

昼休みと放課後17時まで。

<貸出冊数と期間>

1人3冊まで、2週間貸出。
長期休み前特別貸出は
1人5冊まで。



2月の お話給食

「お話給食」とは、物語に出てくる料理を食べながら、本の世界を楽しむ給食です。

今月は、2月22日(火)です。

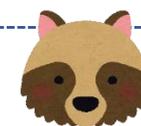
紹介する本 : 『きつねうどん たぬきうどん』

古内ヨシノ作 大日本図書

給食のメニュー: 「きつねうどん」 お楽しみに!



裏面も見てね。



今年度の最終貸出は3月3日(木)です

今年度最終の貸出は3月3日(木)、返却期限は3月17日(木)となります。

春休み中は学年やクラスが変わるので、本の貸出は行いません。読みたい本がある人は、今のうちにどんどん借りておきましょう。

返却期限を守りましょう

返却期限の過ぎている本が手元にある人は、必ず返却してください。

学校図書館が閉まっている時は、図書館入り口に設置している「返却図書BOX」に本を入れてください。

紛失等返却できない理由のある人は、担任の先生、または読書学習司書まで連絡してください。

図書館の本はみんなの本です。返却期限を守って、気持ちよく学校図書館を使いましょう



現代作家の

エッセイ特集

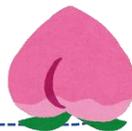


エッセイとは自由な形式で意見感想などを述べたもの。随筆。「大辞泉」より



『もものかんづめ』 さくらももこ／著 集英社（分類 914）

漫画『ちびまる子ちゃん』の作者、さくらももこさんの初エッセイ。自身が日常で体験した出来事に父ヒロシや母・姉など、お馴染みの家族も登場する、笑いが満載の一冊。本書以外にも『さるのこしかけ』『たいのおかしら』など多数の人気作品を執筆。



『ほんとうのリーダーのみつげかた』

梨木香歩／著 岩波書店（分類 914）

近頃はみんなと同じでなくてはいけないという「同調圧力」が強くなっている。著者は、「それって本当？」と疑問を持ち、「自分の中に内なるリーダーを作って、他者に従うのではなく、自分のリーダーの判断に従え」と主張している。

『九十歳。何がめでたい』 佐藤愛子／著 小学館（分類 914）

大正12年生まれ、自分の身体に次々に起こる「故障」を嘆き、時代の「進歩」を怒り、悩める年若い人たちを叱りながらも、あたたかく鼓舞する。笑いの中にも深い余韻が残る一冊。

『中学生までに読んでおきたい哲学』

松田哲夫／編 あすなる書房（分類 914）

「哲学は哲学書の中にだけあるものではありません。私たちの暮らしの中にも、気楽によんでいる文章にも考えるためのヒントとしてちりばめられています。」（編者の言葉より）全8巻。『1 愛のうらおもて』『2 悪のしくみ』等、各巻テーマにそった多彩な書き手による味わい深い短編を収録。

『向田邦子ベスト・エッセイ』

向田 和子／編 ちくま文庫（分類 914）

飛行機事故の為、1981年51歳で急逝。40年経った今も読み継がれている作品の数々。その中から、人間の面白さを描いた名エッセイを「家族」「食」「旅」といったテーマで選んで収録。「昭和の家庭像」が濃く映し出されている。



本のリクエスト募集中！

「こんな本が読みたい」「この本の続巻を読みたい」等の要望は、図書館入口に備付けの「本のリクエスト」用紙に記入して、司書に渡してください。

検討の上、購入した場合は、リクエストした人に最初に貸出をします。みなさんからのリクエストをお待ちしています。

